

令和3年度の業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期計画項目	令和3年度の 業務実績評価における指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和4年度以降の改善の状況
<p>I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 質保証連携</p> <p>(1) 大学等連携・活動支援</p> <p>③大学ポートレート</p>	<p>大学ポートレートについて、国公立版と私立版は内容も含めて差異があるが、そうした差異を検証して共通性の構築を模索し、社会に示していくことが望まれる。</p>	<p>左記の指摘を受け、令和3年度内に私学版を運用している日本私立学校振興・共済事業団と連携し、国公立版と私学版の現在の公表項目等について検証を行った。結果、私学版の一部については設置主体の特性故の表現の差異があるものの、国公立版、私学版共に、大学ポートレート（仮称）準備委員会ワーキンググループにおいて取りまとめられた「国公立共通に発信する教育情報（案）」に基づき項目及び内容を公表していることが確認された。令和4年度においては、認証評価の結果について適合・不適合の表示をするなど国公立版と私学版が統一性を持った表示をすることを決定し、令和5年度に大学ポートレートウェブサイトにおいて反映した。今後も大学ポートレートが利用しやすいようステークホルダーから意見を聴取しつつ検証を進めていく。</p>
<p>I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 質保証連携</p>	<p>コロナ禍という大きな経験とそこからの知見を踏まえて、認証評価の方法や基準について、評価機関関係での緊密な協議と連携が実施されることにより、各認証評価機関の独自性を保ちつつ、共通性を高めていくことが望まれる。</p>	<p>文部科学省中央教育審議会大学分科会質保証システム部会「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」で示された認証評価制度の改善・充実の方向性への対応のため、令和4年度の認証評価機関連絡協議会において、今後の検討課題について協議し、令和5年度は実際の運用に当たった課題・問題点等を整理し、意見等を取りまとめ、11月に文部科学省へ提出した。令和6年度以降も共通の課題や機関間で連携できる取組の検討、各機関の評価の実施状況についての情報共有を行うなど、緊密な協議・連携を図っていくこととしている。</p>